

**TAKUDAI**  
TAKUSHOKU UNIVERSITY

# 政治学の分野から考える オープンデータの利用推進

拓殖大学政経学部 教授

河村 和徳

# 何をしている人か？

- 政治現象をサーヴェイデータやアグリゲートデータを利用して分析
- 講義 / 研究として...
  - 東北大学公共政策大学院
  - 東北大学情報科学研究科統計科学研究センター
- 行政への貢献として
  - 宮城県行政経営推進委員会委員長
  - 市町村アカデミーでの講義

## 自治体DX推進と オープンデータの活用

編者  
木村 泰知

著  
本田 正美  
河村 和徳  
高丸 圭一  
内田 ゆず

乙武 北斗  
吐合 大祐  
遠藤 勇哉

地方政治を動かしている  
ものは何か

多様なデータ抽出・分析手法による可視化  
で見てきた地方自治体・地方議会の実像

日本経済評論社 全額(本体2700円+税)

明治大学  
湯浅 壘道  
教授  
推薦

# 最近の動向

- 研究では...

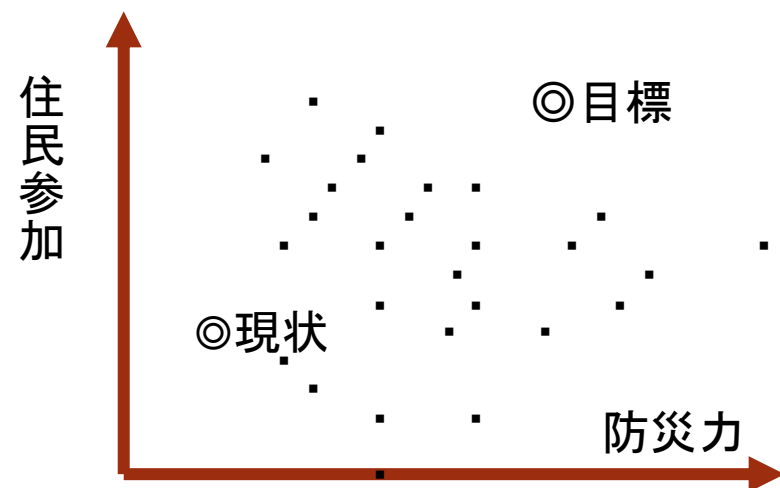
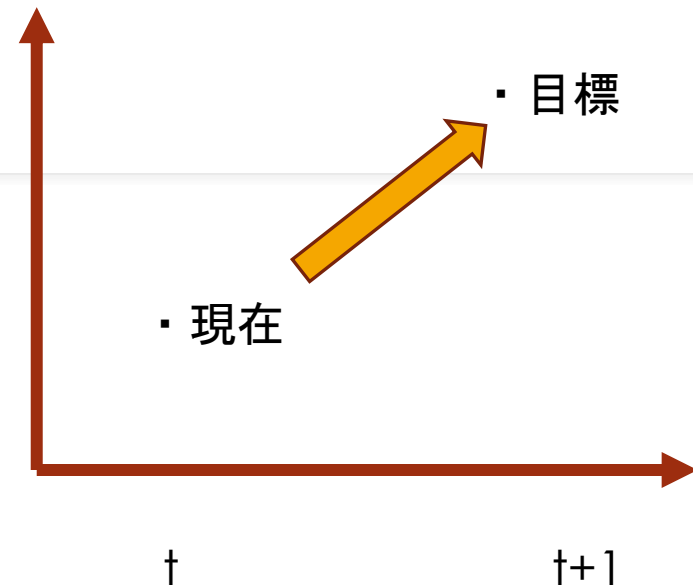
- 言語情報・非言語情報を利用した研究 Li and Kawamura. (2025) A Longitudinal Analysis of Speeches on Digitalization of the Local Government in the Osaka Prefectural Assembly: Insights from 35 Years Using Text Analysis and BERTopic. 研究方法論叢 10(1): 345-372
- RISTEX SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム「地方自治体におけるトラスト形成（研究代表者：木村泰知小樽商大教授）」

- 行政への貢献として

- 宮城県公文書委員会委員 ← 利用者の立場として

# どんな話をしているのか①

- 立案をするときの留意点
    - 現状の把握と目標の想定との関係
      - 評価指標の設定
      - 現状を上げるのか、維持するのか
    - 手段
      - アメ（助成）とムチ（規制）
    - 他との比較はどうか
- これができていれば評価は容易



## どんな話をしているのか②

- 政策のロジックモデルを意識する
  - インプット、アウトプット、アウトカム
- EBPMにおける論点
  - アカウンタビリティ...現状や結果を説明できること（納得してもらうことではない）
  - どのようにデータを集めるか
  - 価値をどう評価するか？ 政策は効率性だけで評価できない
    - 偏らない評価、多角的な評価

# LLMの発達と文書のオープンデータ化

- 学習データとしての公文書

- 玉石混淆の情報ではなく、ある程度整った正確な文章が確保できる
  - ⇒ 挨拶文や翻訳をする際、有用
  - ⇒ 組織内での生成系AIの活用にプラス

- 韓国におけるAI秘書プロジェクト（地方議員の政策形成能力を高めるために）
- ファクトチェックへの利用

# EBPM、オープンデータの推進

- EBPM（エビデンスに基づく政策立案）

<https://www8.cao.go.jp/cstp/evidence/index.html>

- 直接的な背景「第5期科学技術基本計画(平成28年1月22日閣議決定)」

政策におけるインプット(資金、人材)からアウトプット、アウトカムに至る情報を体系的に整備・相互に接続し、国全体の政策や各府省庁・研究助成期間の事業におけるPDCAサイクル構築に活用するとともに、エビデンスに基づくPDCAサイクルを確立することで、政策のコスト・効果等を見える化することを目指す。

→ これらを実現するエビデンスシステムの構築に取り組む。ただし…

# オープンデータの意義

- 国民参加・官民協働の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化
- 行政の高度化・効率化
- 透明性・信頼の向上

行革に利用することが  
ベースにあることがわかる

# オープンデータの定義

## ➤ オープンデータの定義

- 国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、**国民誰もが**インターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータをオープンデータと定義する。
  - 営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの
  - 機械判読に適したもの
  - 無償で利用できるもの

# オープンデータ推進の課題

- データが公開できるのか？
  - データを公開する意思があるのか？
  - → 情報公開に対するフィロソフィー、体制
  - → 政治的思惑に翻弄される可能性
  - マンパワー的な問題
- そもそも利他的に分析できる人がいるのか（環境は？）

# オープンデータ推進の課題

- 提供者と利用者との認識ギャップ
  - 利用者は必要な分だけ提供してもらえれば十分という発想
  - フェアユースに対する姿勢のギャップ
- 政策形成 / 政策評価で利用するイメージができていないのではないか

モデルがなければ続かない

# 京畿道議会の条例制定・改正システム



1. 既存条例の問題点と課題
2. 新しい条例案の提示
3. 議員へ説明
4. 住民説明会の資料
5. マスコミ向けの記事
6. 改正による効果分析

# 京畿道議会のAI予算・決算分析・支援システム



- 1.AI基盤の財政統計・検索DB構築
  - 2.SLM基盤AI
  - 3.知能型予算・決算DB
  - 4.予算・決算関連法令DB
  - 5.予算・決算関連用語DB
- **DBPM**: Data Based Policy Making
  - 予算運用の効率化:**2025年12月から運用**

# 濟州島議会の陳情解決支援システム



1. AI基盤の財政統計・検索DB構築
2. 自治体の分野別事業のDB
3. 地域・選挙区の現場で議員一住民の対話を整理・分析
4. 海外・他地域の事例や解決策を提示
5. 予算・事業案の策定
6. 予算案の策定